1303 E381-C

同時給排 レンジフード 取付説明書

※裏面は型紙（原寸大）になっておりますので
あわせてご利用ください。

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

※ 機種により多少デザインが異なる場合があります。

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警 告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠注 意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

- ⃠ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
- ● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

使用禁止
- 交流 100V 以外では使用しないこと
  火災・感電の原因になります

埋込禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
  漏電した場合、発火するおそれがあります

取付注意
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
  火災などの原因になります

取付注意
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
  誤った配線工事は感電や火災の原因になります

取付注意
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
  漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

取付注意
- 製品とダクトは、可燃物との間を10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
  火災などの原因になります
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

取付注意
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
  漏電した場合、発火するおそれがあります

アースを取り付ける
- アースを確実に取り付けること
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります
  アースの取り付けは販売店にご相談ください

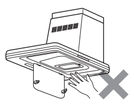
取付注意
- 自然排気型のストーブを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分給気される配慮をすること
  排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります

⚠ 注 意

使用禁止
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）
  感電および故障の原因になります

取付禁止
- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと
  火災・故障の原因になります

接触禁止
- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
  けがをするおそれがあります



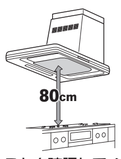
取付注意
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
  落下によりけがをするおそれがあります

取付注意
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
  落下によりけがをするおそれがあります

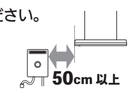
手袋をする
- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取り付け上のお願い

- **下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。**
  - **・大工工事【設置のための下地工事等】**
  - **・配線工事【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】**
  - **・管工事【ダクト配管およびレンジフードからのダクト接続等】**
  - **流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。**
- ダクトの不燃処理について
  - ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、または 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
  - ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
  調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が低下します。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用ください。
  防虫網付きのものは目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじるしく低下させたり、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- 製品は調理機器の真上に取り付けてください。
  なお、製品取付高さは、製品の下端が調理機器の真上 80cm になるようにしてください。



- レンジフード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。
  本体の取付用座付ねじは 45mm の長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
  また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
  また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。
  湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で料理される場合は油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm² 程度の空気取入口を設けてください。
- 同時給排モデルのレンジフードをお使いの場合でも、建物の気密性によって給気が必要となる場合があります。その場合は別途空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露し本体内に結露水が流れる場合がありますので排気ダクト・給気ダクトには断熱材を巻くなどの対応をしてください。

取り付け前の調査と準備

⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

取付注意
- レンジフードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
  漏電した場合、発火するおそれがあります

取付注意
- 製品とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
  火災などの原因になります
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

埋込禁止
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
  漏電した場合、発火するおそれがあります

取付注意
- 排気工事をされる場合は建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
  火災などの原因になります

⚠ 注 意

手袋をする
- 取り扱いの際は必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

取付禁止
- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと
  火災・故障の原因になります

取付注意
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
  落下によりけがをするおそれがあります

1 取付面の強度確認
製品を支える強さが必要です。

製品質量	36.5 kg

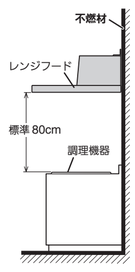
■板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）
- 板厚が 20mm 未満の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板にレンジフードを取り付けてください。
- 板厚が 20mm 以上の場合は補強板の必要はありません。

■コンクリート、タイル壁の場合
- あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■土壁の場合
- 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。

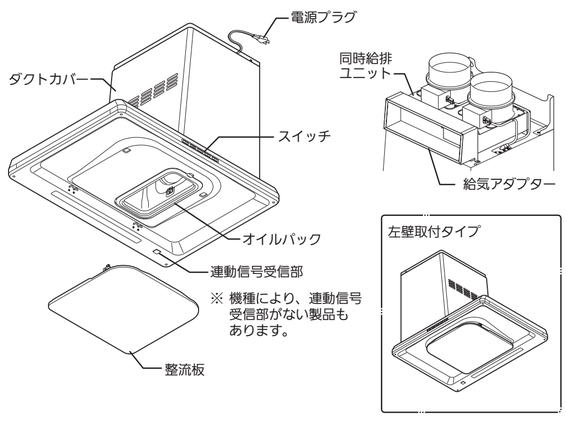
2 別売部品の準備
排気工事に応じた別売部品の準備が事前に必要です。

3 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は、調理機器の上面から製品の下端まで 80cm です。
※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理機器の真上 80cm 以上必要となっています。



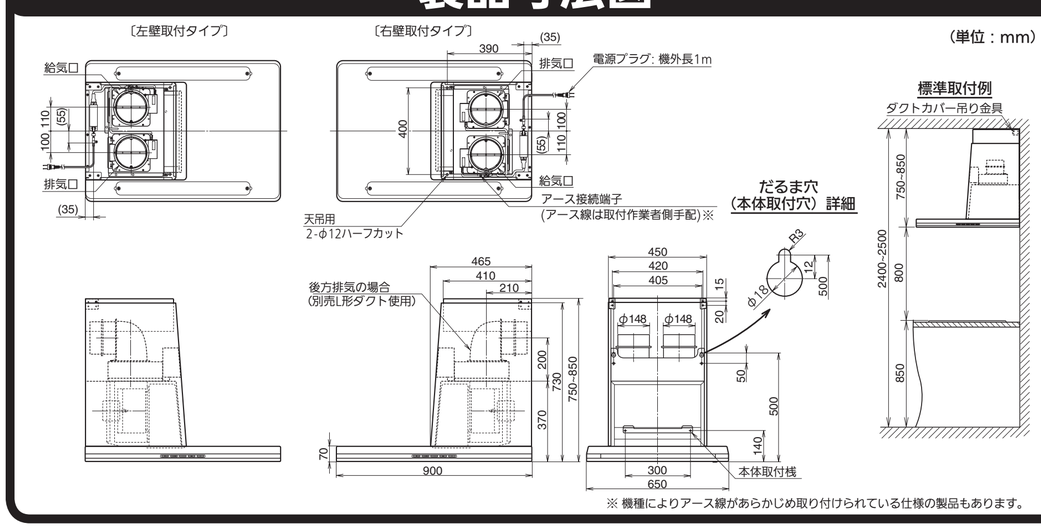
4 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。（交流・単相 100V）
コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続器 15A 125V をご使用ください。

各部のなまえ



製品寸法図

（単位：mm）



※ 機種によりアース線があらかじめ取り付けられている仕様の製品もあります。

付属品

- **座付ねじ（φ 5.1 × 45）10 本**
  本体およびダクトカバー吊り金具の取り付けに使います。
- **化粧ねじ（M4 × 8）2 本**
  ダクトカバー内側スライド部の固定に使います。
- **トラスねじ（M4 × 10）17 本**
  同時給排ユニット、給気アダプター、吊り金具およびダクトカバーの取り付けに使います。
- **吊り金具　1 個**
  本体の取り付けに使います。
- **本体取付桟　1 個**
  本体の取り付けに使います。
- **ダクトカバー　1 個**
  ダクト取付部をカバーします。
- **ダクトカバー吊り金具　2 個**
  ダクトカバーの取り付けに使います。
- **給気アダプター　1 個**
  同時給排ユニットに取り付けます。
- **ソフトテープ　2 本**
  給気口・排気口とダクトとのすきまをふさぐのに使います。
- **同時給排ユニット　1 個**
  本体に取り付けます。
  給気口・排気口各 1 個（電動シャッター付）があらかじめ取り付けられています。

取り付けかた

1．付属品の確認

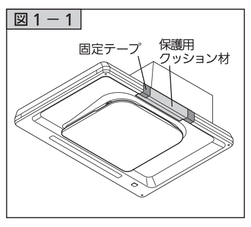
⚠ 注 意

手袋をする
- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
  鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

付属品を確認します。
梱包箱から同時給排ユニット、ねじ等の付属品を取り出し、上頂の付属品一覧により不足がないか確認してください。

お願い
- 保護用のクッション材と固定用テープはキズ、破損防止のため、「8．試運転」まではずさないでください。（図 1 － 1）
- 床で作業する場合、本体および床に傷を付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。

図 1 － 1



2．給気・排気方向の決定

⚠ 警 告

取付注意
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取り付けること
  漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

取付注意
- 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
  火災などの原因になります

取付注意
- 製品とダクトは、可燃物との間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
  火災などの原因になります
  詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください

⚠ 注 意

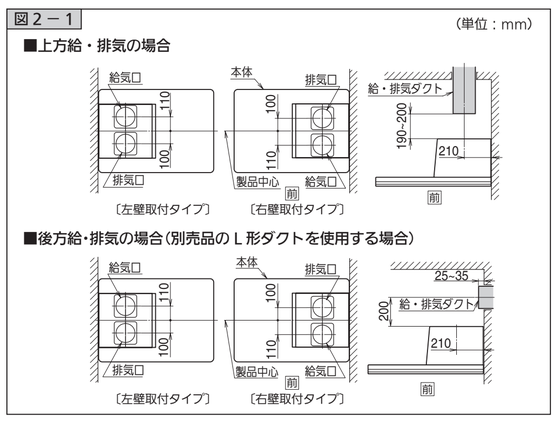
使用禁止
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）
  感電および故障の原因になります

取付禁止
- 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと
  火災・故障の原因になります

1 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者（法的有資格者）へ壁穴の開口を依頼してください。
また、コンセントの位置を確認してください。（「6. 電気配線」図 6 － 1, 6 － 2 参照）

2 φ 150 のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを図のようにレンジフードの上部に突き出すようにセットして、周囲を仕上げます。（コンクリート、タイル、土壁の場合）（図 2 － 1）

図 2 － 1　（単位：mm）

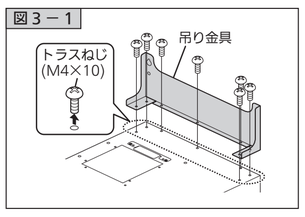


3．付属品の準備

※「1．付属品の確認」の項で取り出した吊り金具および同時給排ユニットを用意してください。

1 吊り金具を取り付けます。（図 3 － 1）
付属品のトラスねじ（M4 × 10）7 本で付属品の吊り金具を本体天面に取り付けます。

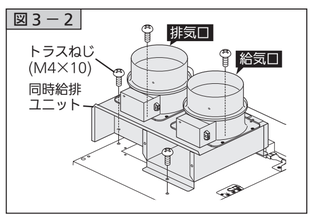
図 3 － 1



2 付属品のトラスねじ 4 本で、付属品の同時給排ユニットを取り付けます。（図 3 － 2）
※取付方向は右図を参照してください。

お願い
手動でシャッターを開閉すると故障の原因となりますのでお止めください。

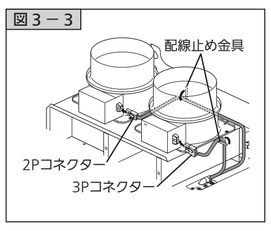
図 3 － 2



■ 上方給・排気の場合

3 信号線を接続します。（図 3 － 3）
1）本体から出ている 2P コネクターを排気口のソケットに、3P コネクターを給気口のソケットにそれぞれ接続します。
2）配線止め金具で信号線を固定します。

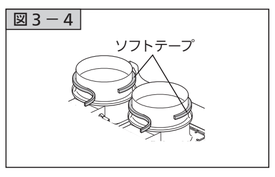
図 3 － 3



お願い
- コネクターの接続は確実におこなってください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合せて確実にロックしてください。
- 給気口・排気口の取付位置が間違っている場合、配線が届かないことがあります。給気口・排気口を取り付け直してください。

4 ソフトテープを貼り付けます。（図 3 － 4）
給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。

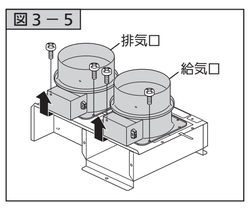
図 3 － 4



■ 後方給・排気の場合
（別売のＬ形ダクトを使用する場合）

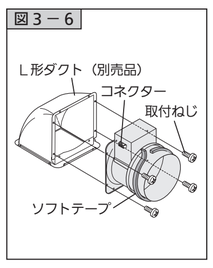
3 給気口・排気口を取りはずします。（図 3 － 5）
同時給排ユニットに取り付けられている給気口・排気口をはずします。
※ 給気口・排気口はそれぞれ取付ねじ各 2 本で取り付けられています。はずしたねじは後で使用しますのでなくさないでください。

図 3 － 5



4 給気口・排気口をＬ形ダクトに取り付けます。（図 3 － 6）
1）給気口・排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。
2）別売品のＬ形ダクトに付属品の取付ねじ各 4 本で、給気口・排気口をＬ形ダクトに取り付けます。
取付方向は右図を参照してください。
※ 本体への取り付けは、本体の取り付け後におこないます。（「5. ダクトと給気用・排気用部品の接続」参照）
※ 給気口・排気口を取り付ける際は、取付方向を間違えないようご注意ください。

図 3 － 6



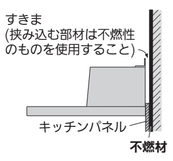
4．本体の取り付け

⚠ 注 意

取付注意
- レンジフードの取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
  落下により、けがをするおそれがあります

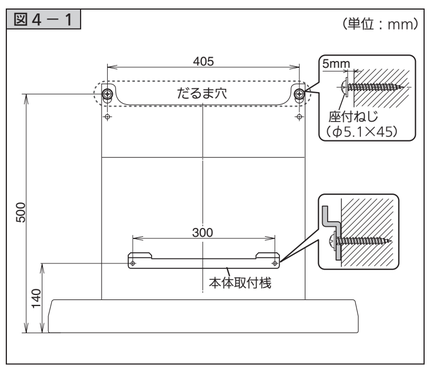
取付注意
- 部品の取り付けは確実におこなうこと
  落下によりけがをするおそれがあります

お願い
- レンジフードの前後および左右方向の水平を確実にだしてください。水平に設置されていないと、本体内部の汚れ（油）がオイルパックにたまらず各部のすきまから調理面に滴下することがあります。
- キッチンパネルの上端部をレンジフード下部壁面に入れ込んで設置する場合、レンジフードと壁面のすきまに挟み込む部材は不燃性のものを使用してください。可燃物を使用した場合、火災の原因になるおそれがあります。



1 だるま穴用座付ねじをねじ込みます。（図 4 － 1）
製品寸法図と裏面の型紙を参照し、だるま穴位置（左右各 1 ヶ所）に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）を壁面とのすきま 5mm まで締め付けます。

図 4 － 1　（単位：mm）

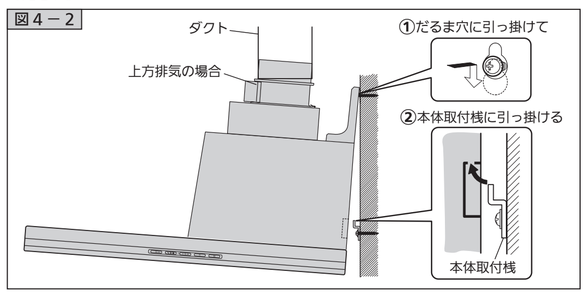


2 本体取付桟を取り付けます。（図 4 － 1）
本体取付桟の取付位置に合わせて付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）2 本で本体取付桟を固定します。

3 本体を引っ掛けます。（図 4 － 2）
本体のだるま穴を座付ねじに引っ掛けながら（ ① ）、本体背面の溝を本体取付桟に引っ掛けます（ ② ）。

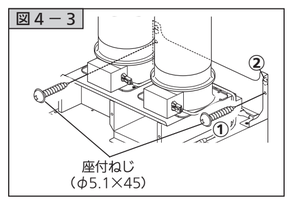
お願い
上方給・排気の場合はダクトに給気口・排気口を差し込みながら本体を取り付けてください。

図 4 － 2



4 本体を固定します。（図 4 － 3）
1）だるま穴下のφ 6 穴（左右各 1 ヶ所）に付属品の座付ねじ（φ 5.1 × 45）をしっかりと締め付けます（ ① ）。
2）だるま穴の座付ねじ（φ 5.1 × 45）をしっかりと締め付けます（ ② ）。

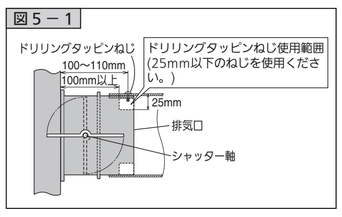
図 4 － 3



5．ダクトと給気用・排気用部品の接続

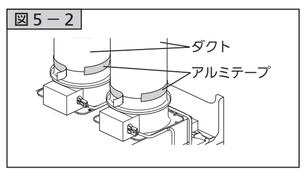
お願い
ドリリングタッピンねじなどで給気口・排気口を固定する場合は、シャッターにねじがあたらないように図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。（図 5 － 1）

図 5 － 1



■ 上方給・排気の場合
ダクトと給気口・排気口の各接続部に風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。（図 5 － 2）

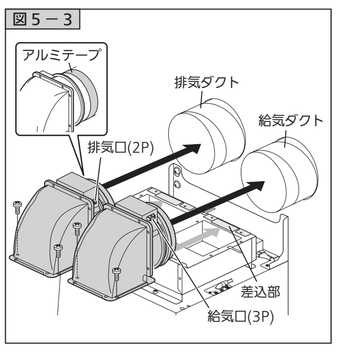
図 5 － 2



■ 後方給・排気の場合（別売のＬ形ダクトを使用する場合）

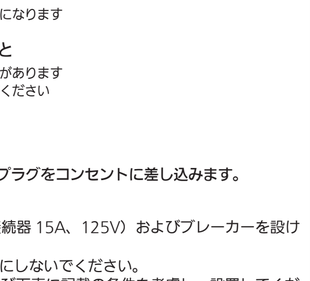
1 給気口・排気口を取り付けます。（図 5 － 3）
※「3. 付属品の準備」で組み立てたＬ形ダクトを用意してください。
1）同時給排ユニット上面の各差込部にＬ形ダクトを取り付けます。
※ダクトに給気口・排気口を差し込みながら取り付けてください。
※給気口・排気口を取り付ける際は、取付位置を間違えないようご注意ください。
2）Ｌ形ダクトを取付ねじ各 2 本で固定します。
※「3. 付属品の準備」ではずしたねじを使用してください。
3）風漏れ防止のテーピング（アルミテープ）をおこないます。

図 5 － 3

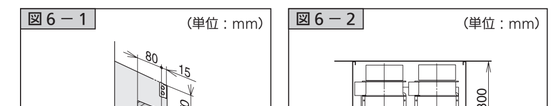


2 信号線を接続します。（図 5 － 4）
1）本体から出ている 2P コネクターを排気口のソケットに、3P コネクターを給気口のソケットにそれぞれ接続します。
2）配線止め金具で信号線を固定します。

図 5 － 4



お願い
- コネクターの接続は確実におこなってください。接続が不十分な場合、レンジフードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。
- コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合せて確実にロックしてください。
- 給気口・排気口の取付位置が間違っている場合、配線が届かないことがあります。給気口・排気口を取り付け直してください。



■ 給気口・排気口設置面の漏風確認のお願い（図 5 － 5）
給気口・排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの給気口・排気口を接続しようとすると、給気口・排気口と給気口・排気口の設置面（製品天面等）が変形し、風漏れが発生してしまう場合があります。
風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転（強運転）をおこなってください。
漏風する場合は、給気口・排気口と設置面の周りをアルミテープ等（現場調達品）で漏風防止処置をおこなってください。

図 5 － 5

（図は上方給・排気の場合）

6．電気配線

⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
  発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

使用禁止
- 交流 100 V以外では使用しないこと
  火災・感電の原因になります

取付注意
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
  誤った配線工事は感電や火災の原因になります

アースを取り付ける
- アースを確実に取り付けること
  故障や漏電のときに感電するおそれがあります
  アースの取り付けは販売店にご相談ください

1）アース（D 種接地工事）を取ります。
2）分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い
- 電源は専用のコンセント（2 極差込接続器 15A、125V）およびブレーカーを設けてください。
- 「8．試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さ、および下表に記載の条件を考慮し、設置してください。

上方給・排気の場合	後方給・排気の場合
下図（図 6 － 1）斜線範囲内に設置	ダクトカバー外側、または天井面の下図（図 6 － 2）斜線範囲内に設置

図 6 － 1　（単位：mm）

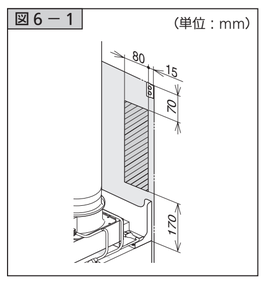


図 6 － 2　（単位：mm）

裏面に続きます

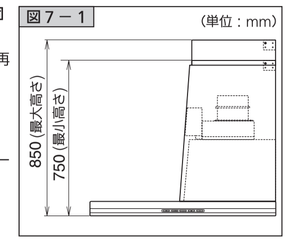
1303 E381

取り付けかた（つづき）

7．給気アダプター・ダクトカバーの取り付け

1 製品前面の保護用クッション材と固定テープを一度取りはずします。
※ ダクトカバー取り付け完了後に再度使用します。

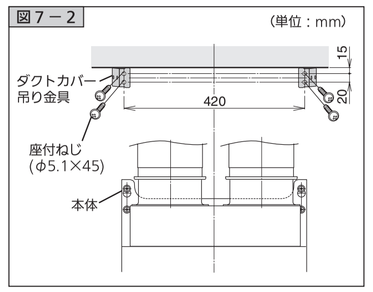
図７－１ （単位：mm）



2 取付位置を確認します。
製品寸法図を参照し、ダクトカバー吊り金具の取付位置を確認します。（図７－１）

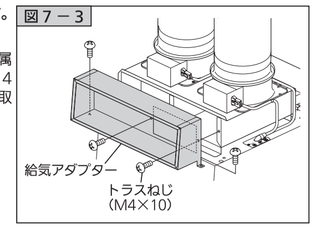
3 ダクトカバー吊り金具を取り付けます。（図７－２）
付属品の座付ねじ（φ5.1 × 45）各２本でダクトカバー吊り金具を図のように取り付けます。
※レンジフードのセンターに合わせて注意しながら取り付けてください。

図７－２ （単位：mm）



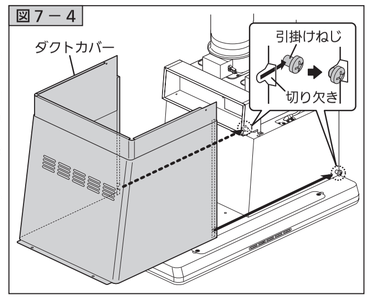
4 給気アダプターを取り付けます。（図７－３）
付属品の給気アダプターを付属品のトラスねじ（M4 × 10）４本で同時給排ユニット前面に取り付けます。

図７－３



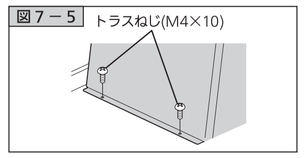
5 ダクトカバーを取り付けます。（図７－４）
1）ダクトカバーを壁際まで持っていき、引掛けねじの手前でフード天面に置きます。
スライドさせながら、引掛けねじを切り欠きにはめ込みます。

図７－４



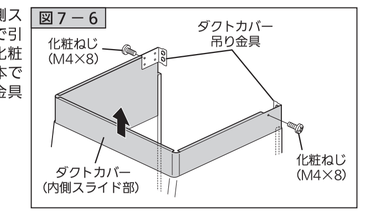
2）ダクトカバー前側を付属品のトラスねじ（M4 × 10）２本で本体に固定します。（図７－５）

図７－５



3）ダクトカバーの内側スライド部を天井まで引き上げ、付属品の化粧ねじ（M4 × 8）２本でダクトカバー吊り金具に固定します。（図７－６）

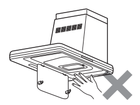
図７－６



8．試運転

⚠ 注 意

● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



■ 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
■ 最終設置した状態で試運転してください。
■ 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
■ 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
■ 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
■ 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

9．お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

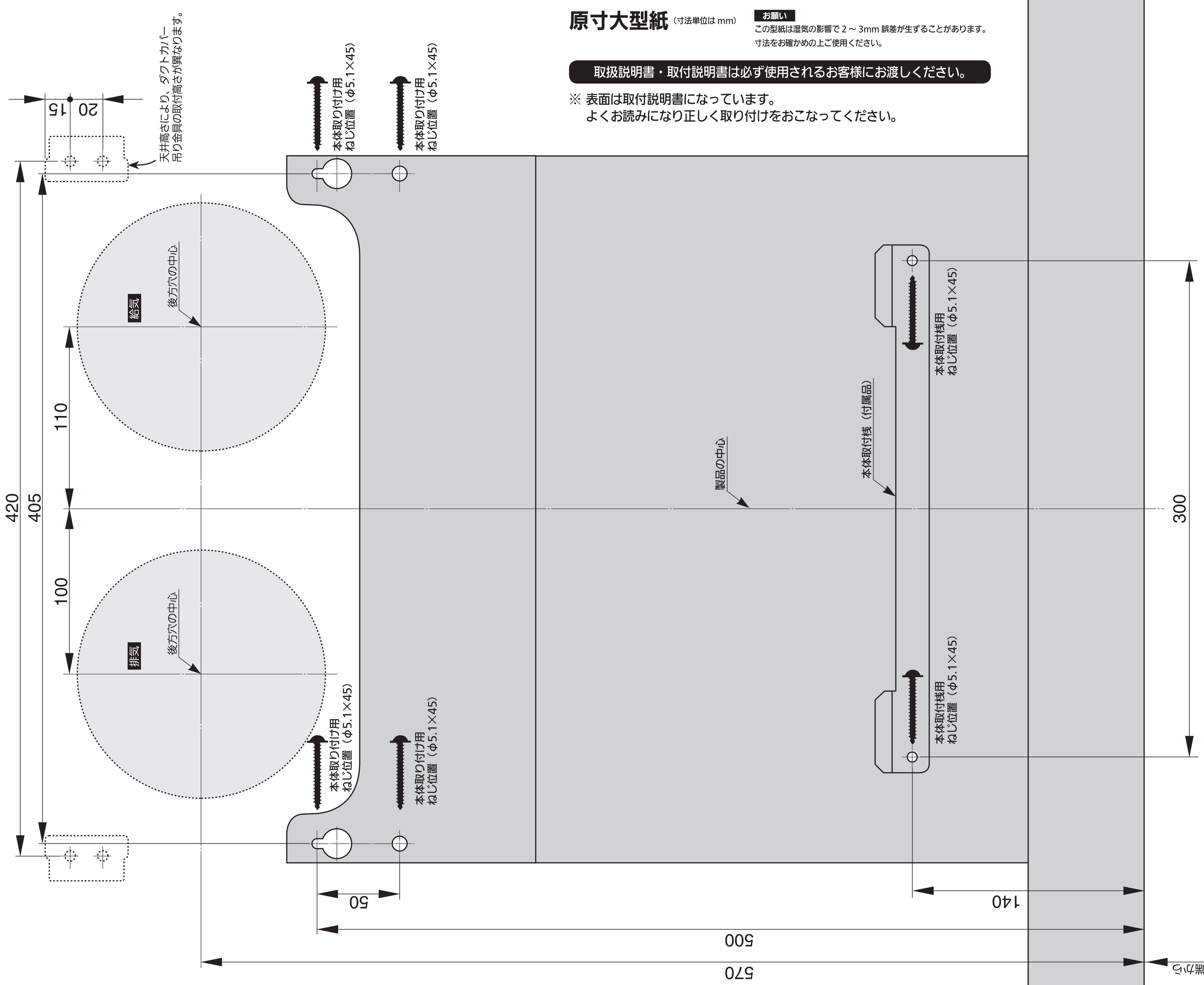
［製造元］ -FUJIOH- 富士工業株式会社
本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１番９号
TEL 042(768)3754（営業部）

原寸大型紙（寸法単位は mm）

お願い
この型紙は湿気の影響で２～ 3mm 誤差が生ずることがあります。
寸法をお確かめの上ご使用ください。

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

※ 表面は取付説明書になっています。
よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。



こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。